“経営に知恵と革新”

平成 30 年 9 月 1 日発行（隔月発行）Vol.742 号

# マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2018 年 9 月・10 月号

第52回経営士全国研究会議
開催日：10月6日・7日
開催地：仙台サンプラザ

認定経営革新等支援機関
一般社団法人日本経営士会

# 67th ANNIVERSARY

## 第52回経営士全国研究会議
## 仙台大会

一般社団法人 日本経営士会創立67周年記念大会は
仙台での開催となります。

第9回ビジネス・イノベーション・アワード2018の表彰式も
併せて実施致します。

経営士の認知度の向上及び経営士会の活性化と親睦を
図ることを目的に「講演会・論文発表・各種表彰・懇親会]
などを行います。

日時 ： 平成30年10月6日（土）～7日（日）
会場 ： 仙台サンプラザ　3階クリスタルルーム
住所 ： 〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡5-11-1

**包括テーマ**

「不測の事態に対する中小企業のリスク戦略」
～東日本大震災等を乗り越えた企業から～

**東北支部一同、皆様の参加を**
**心よりお待ちしております**

# INDEX


第５２回全国研究会議仙台のご案内 ・・・・・・・・・2
理事会通信 ・・・・・・・・・3
一般社団法人日本経営士会２０１８年度組織図 ・・・・・・・・・4
２０１８年～２０１９年度委員会・事業部委員一覧表 ・・・・・・・・・5
お知らせ　推薦入会キャンペーンのご案内 ・・・・・・・・・6
経営支援事業部セミナーのご案内 ・・・・・・・・・7
顧問企業獲得講座の開催報告 ・・・・・・・・・10
寄付講座 産業能率大学・寄付講座・実施報告 ・・・・・・・・・11
委員会活動
　環境ＣＳＲ事業部 ・・・・・・・・・12
　ＭＰＰ委員会 ・・・・・・・・・14
　資格審査委員会 ・・・・・・・・・15
女性経営士の会 ＮＪＫ活動報告 ・・・・・・・・・16
研究会通信 ＴＡＭＡ研究会 ・・・・・・・・・17
「寄稿」武術と健康に関する話 第８回 ・・・・・・・・・18
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・・20
会員広場
　プロレスと経営 第９回 ・・・・・・・・・21
支部活動報告
　東北支部 ・・・・・・・・・22
　千葉支部 ・・・・・・・・・23
　北関東支部 ・・・・・・・・・24
　埼玉支部 ・・・・・・・・・28
　南関東支部 ・・・・・・・・・29
　中部支部 ・・・・・・・・・30
　近畿支部 ・・・・・・・・・31
　中国支部 ・・・・・・・・・32
　四国支部 ・・・・・・・・・33
　支部活動予定 ・・・・・・・・・35
　インフォメーション / 広告 ・・・・・・・・・36



マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会
〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel.03-3239-0691　Fax.03-3239-1831　http://www.keieishikai.com
表紙：伊達政宗像

Copyright©2018 AMCJ. All Right Reserved. Design:ZENT Inc.

全国研だより

# 第52回　全国研究会議 in 仙台のご案内

今年度の全国研究会議は、2008年青森県十和田市開催から10年、
東日本大震災を乗り越えての東北仙台での開催です。

## 皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

第52回全国研実行委員長
東北支部長　　山下 健二

**◆開催日**

平成30年10月6日（土）～ 7日（日）

**◆開催場所**

仙台サンプラザ　3階クリスタルルーム
宮城県仙台市宮城野区榴岡5丁目11-1
TEL：022-257-3333

**◆主催・問合せ先・お申込み先**

一般社団法人日本経営士会
東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F
TEL：03-3239-0691
Email：office@keieishikai.com
http://www.keieishikai.com

**◆参加費用**

・会員参加費：20,000円
・会員同伴者の参加費：14,000円
・一般参加（懇親会含む）：10,000円
・一般参加懇親会不参加（資料代）：3,000円

### タイムスケジュール

開催日　10月6日（土）

| 時間 | プログラム・内容 | | |
|---|---|---|---|
| 13:00 | 受付　3階ロビー | | |
| 14:00～ | 開会式 | | |
| | ・開会宣言 | 実行委員長 | 山下　健二 |
| | ・主催者挨拶 | 一般社団法人日本経営士会 | 会長　青木　幸江 |
| | 式典 | | |
| | ・来賓祝辞 | 東北経済産業局長 | 相樂希美　様 |
| | | 宮城県知事 | 村井嘉浩　様 |
| | | 仙台市長 | 郡　和子　様 |
| 14:30～ | ビジネス・イノベーション・アワード表彰式 | | |
| 15:00～ | （休憩） | | |
| 15:15～ | 基調講演 | | |
| | 東北大学大学院経済学研究科教授　大滝　精一　様 | | |
| | | 演題　「中小企業のリスクマネジメント | |
| | | ～東日本大震災の経験も踏まえて～」 | |
| 16:45～ | 質疑応答 | パネラー | 女性経営士の会NJK |
| 17:00～ | （休憩） | アトラクション | 3階「宮城野」 |
| 18:00～ | 交流懇親会 | ・会員表彰 | 終宴（20:00予定） |

開催日　10月7日（日）

| 時間 | プログラム・内容 |
|---|---|
| 9:00～ | 研究論文講評・入賞者表彰式 |
| | ・経営士による論文発表 |
| | 優秀論文発表① |
| | 優秀論文発表② |
| | （休憩） |
| | 優秀論文発表③ |
| 11:45 | 閉会式　・閉会挨拶 |

# 理事会通信

## 平成30年度第2回定例理事会議事録

1. 日　時：平成30年6月22日（金）　12：30 ～ 13：30
2. 会　場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（バンケットルーム9E）

**≪審議事項≫**

**第1号議案：総会のスケジュールについて**

本日の社員総会スケジュールの再確認事項の説明があり、全会一致をもって承認された。

**第2号議案：生産性向上支援訓練実施状況について**

「生産性向上支援訓練」の申請、実施状況についての現状報告があり、支部により申請のバラつきをなくす事が全会一致をもって承認された。

以　上

## 平成30年度臨時理事会（7月20日）議事録

1. 日　時：平成30年7月20日（金）　10：00 ～ 12：40
2. 会　場：本部会議室

**≪審議事項≫**

**第1号議案：2018、2019年度委員会委員選任について・組織図**

「委員会・事業部委員一覧表（案）」・「組織図」に基づき説明があり、担当理事と委員長の役割を明確するべきとの意見があり、内規の作成をすることとなった。委員等については審議の結果、全会一致をもって承認された。

**第2号議案：規程等の見直しについて（旅費交通費、経営士及び経営士補養成講座運用規則）**

「役員旅費規程 改訂案」の説明があり、一部訂正を条件に全会一致をもって承認された。尚、「自家用車での移動の場合は自己責任とする。」とした。続いて「経営士及び経営士補養成講座運営規則」に基づき説明があり、一部の項目を訂正することで、全会一致をもって承認された。

**第3号議案：2019、2020年全国研開催地について**

2019年は近畿支部に打診中、2020年は北関東支部（新潟）でほぼ決定との報告があり、全会一致をもって承認された。

**第4号議案：会員増強の施策について**

「会員増強施策について」の説明があり、全会一致をもって承認された。

また「2018年会員増員計画【短期計画】」にて、養成講座、推薦入会の目標入会者が示され、全会一致をもって承認された。これにより、今年度は「推薦キャンペーン」として推薦入会者の推薦人には1万円の謝礼を支給することとなった。

**≪報告事項≫**

**1. 全国研会員表彰について**

「会員表彰候補者推薦の件」に基づき説明があり、例年通り、支部に依頼することとなった。

**2. 第46期経営士養成講座事業報告について**

資料に基づき「第46期経営士養成講座」の報告があった。

以　上

# 一般社団法人 日本経営士会　2018年度　組織図

社員総会

監事

理事会

| 委員会 | 担当理事 | 委員長 |
|---|---|---|
| 資格審査委員会（経営士・経営士補） | 津田　嵩 | 戸部廣康 |
| 資格審査委員会（環境経営士） | 津田　嵩 | 福井　浩 |
| 倫理委員会 | 津田　嵩 | 木下忠夫 |
| 広報委員会 | 加藤健二 | 青木強志 |

代表理事
会長　青木幸江
副会長　佐藤光子

副会長
加藤健二

専務理事
近藤安弘

支部長会議

台湾特別支部
黄世欽

西日本ブロック
塚元啓幸

- 中部支部　梅本泰則
- 近畿支部　鋳方貞元
- 中国支部　金廣利三
- 四国支部　塚元啓幸
- 九州支部　西尾廣幸

各経営支援センター
各県会

中日本ブロック
鈴木和男

- 千葉支部　山田　一
- 埼玉支部　小西洋三
- 東京支部　鈴木和男
- 南関東支部　戸部廣康

各経営支援センター
各県会

東日本ブロック
橋本琢磨

- 北海道支部　溝渕新蔵
- 東北支部　山下健二
- 北関東支部　桒山一宏

各経営支援センター
各県会

経営支援事業部
佐藤光子

- 経営支援事業
- 認定機関事業
（川崎隆夫）

人材育成事業部
近藤安弘

- NJKセミナー事業
（島影教子）
- 経営士養成講座事業
（東京　鈴木和男）
（横浜　津田　嵩）
- ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞｸﾛｯｼﾝｸﾞ
（山石明宏）
- 人材活性化委員会
（児玉充晴）

MPP事業部
佐藤光子

MPP委員会
MPP普及活動
推進グループ
（桒山一宏）

環境CSR事業部
津田嵩

- 環境経営士養成講座事業
- 環境CSR事業
（福井　浩）

外部連携事業部
藤本賢司

（鈴木和男）

公益事業
近藤安弘

- 全国研
- アワード
- 寄付講座
- 経営相談

※対象資金が終了した時点で、当事業は廃止。

本部・事務局
近藤安弘

- 総務・経理
- 会員管理

# 委員会の名簿一覧

## 2018年～2019年度委員会・事業部委員一覧表

| | 委員・事業部名 | 担当理事 | 委員長等 | 委　　員 |
|---|---|---|---|---|
| | 資格審査委員会<br>（経営士） | 津田　嵩 | 戸部廣康 | 石井政夫、日野隆生、大森　隆、定野　淳、<br>篠澤勇作<br>顧問：平山道雄 |
| | 同上<br>（環境経営士） | 津田　嵩 | 福井　浩 | （環境 CSR 事業部と同じメンバー） |
| | 倫理委員会 | 津田　嵩 | 木下忠夫 | 宮髙信之、川島秀男、長谷川大二、<br>尾崎竜彦、菊次洋光 |
| | 広報委員会 | 加藤健二 | 青木強志 | 石井政夫、山石明宏、青木健一、堺　剛 |
| | 経営支援事業部 | 佐藤光子 | 川崎隆夫 | 高橋栄一、豊田賢治、横田英滋、<br>越智圭一郎 |
| MPP事業部 | MPP 委員会 | 佐藤光子 | 栗山一宏 | 豊田賢治、島影教子、日野隆生、一瀬良之、<br>顧問：平山道雄、阿部幸男 |
| | MPP 普及活動推進<br>グループ | 佐藤光子 | 栗山一宏 | 河上晃、岩井美喜夫<br>顧問：塚本裕宥 |
| 人材育成事業部 | NJK 女性経営士の会 | 近藤安弘 | 会長<br>島影教子 | 土橋留美子、松永桂子、臼倉恵美子、<br>山下幹子、吉村千鶴子、松橋裕子<br>名誉顧問：青木幸江<br>事業監査：児玉充晴、石井政夫 |
| | エグゼクティブ<br>クロッシング | 近藤安弘 | 山石明宏 | 宮本享宙、青木強志、青木健一、<br>佐藤仙務<br>顧問：青木幸江 |
| | 人材活性化委員会 | 近藤安弘 | 児玉充晴 | 川崎隆夫、藤原義宏、吉村千鶴子、<br>鈴木和男（東京開催塾長）、<br>津田　嵩（横浜開催塾長）<br>顧問：青木幸江 |
| | 環境 CSR 事業部 | 津田　嵩 | 事業部長<br>福井　浩 | 石黒不二夫、林久雄、高橋洋子、宮髙信之、<br>菊次洋光、本田哲行 |
| | 外部連携事業部 | 藤本賢司 | 鈴木和男 | 廣瀬典仁、松橋裕子、荒尾裕子、<br>小山内一美、矢島英夫、高橋洋子、<br>大宮政男 |

お知らせ

# 推薦キャンペーン（経営士への推薦活動）

## 推薦キャンペーン

**ねらい**：日本経営士会の会員増強と組織力強化を目指して推薦キャンペーン（経営士への推薦活動）を実施いたします。（推薦要件は下記のとおりです）

**期　間**：2018年7月20日～ 2019年2月末日

**運　用**：役員・支部長が中心になり、会員の皆様に推薦活動のご協力をお願いします。
推薦いただいた方には謝金1万円を差し上げます。
推薦入会に係る用紙「推薦依頼書」並びに「推薦書」は、各支部に備えつけします。
一般会員の方が推薦頂く場合は、「推薦依頼書」用紙に所定事項を記入頂き、所属支部長に提出お願いします。（その後、支部長が面接を実行します）
役員・支部長が推薦頂く場合は、直接「推薦書」用紙に記入お願いします。

## 【経営士への推薦要件】公式ホームページより

1．経営コンサルタントとして、経営指導の実績が継続3年以上有する者
2．短期大学以上の教育機関において、教授、准教授、講師として経営管理に関する教育実績が継続3年以上有する者
3．全能連マネジメントコンサルタントとして、登録している者
4．次の有資格者で、経営指導実績が継続3年以上有する者
弁護士、公認会計士、技術士、社会保険労務士、税理士、中小企業診断士、弁理士、不動産鑑定士、経営に関する博士、行政書士、司法書士等
5．企業経営経験者等
企業（株式会社、有限会社等会社組織の種類は問わない）の取締役、執行役員は通算3年以上、及びこれに準じる部門長クラス以上の在任年数が5年以上を有する者
6．経営コンサルティングを本業とする企業のコンサルティング・スタッフとして経営指導の実績が通算5年以上を有し、その経営者から推薦のある者
7．研究機関研究者等
研究指導層（企業経営者等に準ずる）歴が通算10年以上を有する者
8．団体指導層
企業経営経験者に準ずる
9．その他、上記の資格基準と同等以上に推薦者が評価できる者

（専務理事　近藤 安弘）

# セミナーのご案内

セミナーのご案内

## 「中小企業の海外進出支援セミナー」開催のご案内

【経営支援事業部】

経営支援事業部は、10月13日（土）に、中小企業の事業再生や海外進出等の支援に豊富な指導実績をもつ税理士の出津平氏を講師にお招きし、「日本市場の縮小の中で、中小企業に対してコンサルタントが行うべき指導」というタイトルで、セミナーを開催します。お申込みは先着順で定員になり次第締め切りますので、参加ご希望の方は、お早めにお申し込みください。

### ■中小企業の海外進出支援セミナー

### 「日本市場の縮小の中で、中小企業に対してコンサルタントが行うべき指導」

日本の人口減少傾向が、日本の消費市場の縮小を余儀なくしています。事業の縮小均衡の中で中小企業が生き残るには、極めて難しい経営が求められます。また、情報・消費行動がIOT社会に変化する中で、世界のビジネス界で何が起きているか、これからどう変わるか、企業経営は確実な変化を見据えた経営施策が求められます。そこで本セミナーでは、時代の変化とコンサルタントに求められ知識やノウハウについて、事例等をもとに解説します。

**◆主な講義内容（予定）**

1. インターネット社会が引き起こす流通革命の現状と将来
2. 製造業、卸小売業、サービスは、IOT社会の進化でどう変わるか
3. 中小企業の海外市場へのアドバイスに必要な知識 ～中国輸出、米国輸出ほか
4. 変化するビジネス社会で、今後必要不可欠な企業人材
5. コンサルタントに求められる視野、経営ビジョンの指導力　ほか

**◆講　　師：**出津　平 氏　（税理士・認定事業再生士）

専門は国際税務会計･事業再生。日本･中国に、顧問先約400社を超える大型会計事務所を経営。100社以上の会社の再生とM&Aに携わる。30年を超える企業経営のアドバイザー経験と、数多くの業界知識をもとに、営業現場型の事業再生を展開。

中国等では、現地日系企業の紛争解決、合弁、マーケティング、ビジネススキームの提案等の業務を中心に活動している。

**◆開催日時：**2018年10月13日（土）　13：00 ～ 17：00

**◆会　　場：**（一社）日本経営士会　本部会議室

**◆参 加 費：**2,000円（消費税込）

**◆お申込み：**（一社）日本経営士会 本部事務局

TEL. 03-3239-0691　FAX. 03-3239-1831

主催：経営支援事業部

セミナーのご案内

たった1日で会計と戦略立案の基礎がわかる！

# 「会計＆戦略立案基礎講座」開講のご案内

あなたも「会計」と「戦略立案」の基礎をマスターし、
経営士として活躍するフィールドを拡げてみませんか？

## 経営革新・経営改善支援等に必須となる基礎知識を効率的に習得

現在（一社）日本経営士会は、中小企業経営力強化支援法に基づき認定された「経営革新等支援機関」として、経営革新計画や経営改善計画等の策定支援を行うエキスパートを養成し、彼らに「経営支援アドバイザー」資格を授与する活動を積極的に展開しています。 現在、中小企業や小規模事業者等では、経営革新や経営改善に関するニーズは高まっており、特に経営革新計画・経営改善計画の策定からその実行プロセスまでをトータルに支援できる経営支援アドバイザーへの期待は、今後益々高まっていくものと予想されています。しかしながら、中小企業等の経営革新や経営改善などをトータルに支援するためには、「会計」や「戦略立案」領域に関する基礎知識を習得しておく必要があります。そこで、（一社）日本経営士会は、「会計」と「戦略立案」の基礎を1日で効率的に習得するための講座を開催いたします。

### 講座実施概要

■ **会計＆戦略立案基礎講座**

会計や戦略立案に関する基礎知識をお持ちでない方を主対象とした入門講座です。

- 開催日時：2018年11月23日（金）　10：00～ 17：00
- 会　場：　LMJ東京研修センター　会議室　（東京都文京区本郷1-11-14）
- 定　員：　20名
- 主な学習内容（予定）：
  - ◆会計　・　中小企業の会計と財務諸表の見方
    ～損益計算書、貸借対照表、販売費及び一般管理費内訳書　ほか
    - キャッシュフロー計算書、変動損益計算書　ほか
  - ◆各種環境分析と戦略立案
    - 戦略立案の策定フロー　・　各種環境分析手法、主な戦略定石　ほか
- 講師：　指導経験豊富な経営士が担当します。
- 受講料：　10,000円　（税込）
- 申込締切日：2018年11月9日　（金）　＜先着順＞

■ **受講メリット**

- 経営革新等の支援に必須となる「会計」と「戦略立案」領域に関する基礎知識を低価格で、かつ短時間で習得できる。
- 今後、経営士として活動する領域を拡大することができる。

■ **お申込み・お問い合わせ**

（一社）日本経営士会 本部事務局　TEL.03-3239-0691　FAX.03-3239-1831

セミナーのご案内

主催：経営支援事業部

# 「経営支援アドバイザー養成講座」（経営改善支援）開講のご案内

**あなたも「経営支援アドバイザー（経営改善支援）」資格を取得して、経営改善計画の策定支援などに、積極的に取り組んでみませんか？**

## 講座実施概要

**<1> 経営支援アドバイザー（経営改善支援）養成講座【基礎知識講座】** ＊希望者のみ

主に会計や戦略立案領域について、初めて学習する人を対象としたオプション講座です。なお別頁でご案内している「会計＆戦略立案講座」と同じ講座です。学習内容は、「会計＆戦略立案講座」の頁をご覧ください。

＊すでに会計や戦略立案に関する基礎知識をお持ちの方は、本講座を受講する必要がありません。
＊「基礎知識講座」の受講だけでは、「経営支援アドバイザー」資格を取得することはできません。

● **開催日時：** 2018年11月23日（金）　<1日>　10：00～17：00

**<2> 経営支援アドバイザー（経営改善支援）養成講座【実践知識講座】** ＊全員必須

経営改善計画策定支援の実践に必要な知識を習得するための講座です。テキストには、認定支援機関向け経営改善・事業再生研修【基礎編】(中小企業基盤整備機構)を使用し、事例に基づく研修を行います。【実践知識講座】の受講修了者には、「経営支援アドバイザー資格」を授与いたします。（会計や戦略立案領域に関する基礎知識の無い方は、上記【基礎知識講座】受講が必須です。）

● **主な学習内容（予定）：**
- 「経営改善計画」等の事例　・認定経営革新支援機関業務の位置づけ
- 中小企業金融をめぐる現状認識　・経営課題の把握　・経営改善施策の策定
- 計数計画の策定　・金融支援策の策定　・バンクミーティング　・モニタリング　他

● **講師：** 経営改善計画の策定支援実績等をもつ経営支援アドバイザーが担当致します。
● **開催日：** 2018年11月24日（土）～ 25日（日）　<2日間>
● **開催時間：** 初日：10：00～18：00　2日目：9：00～17：00

●**会　場：** LMJ東京研修センター　会議室　（東京都文京区本郷1-11-14）
＊基礎知識講座、実践知識講座共通
●**定　員：** 20名
●**受講料：** 【基礎知識講座+実践知識講座セット　3日間】　40,000円（税込）
【実践知識講座のみ　2日間】　30,000円（税込）
●**申込締切日：** 2018年11月9日（金）　<先着順>

## ■ 受講メリット

- **経営改善計画の策定支援に必要な実践的な知識とノウハウを、短期間で習得できる。**
- **実践知識講座の修了者には「経営支援アドバイザー」の資格を授与されるため、「経営改善計画」の承認支援等の際には、日本経営士会の支援を受けることができる。**

## ■ お申込み・お問い合わせ

**（一社）日本経営士会 本部事務局　TEL.03-3239-0691　FAX.03-3239-1831**

# 顧問企業獲得講座の実施結果の報告
## ― 実施内容、アンケート結果、受講者の声など ―

**【顧問企業獲得講座の内容概要】**（7/7と7/28の両日とも同等の内容）

**◇午前（2時間）：川崎 隆夫 講師**

（株）デュアルイノベーション　代表取締役。シニア・コンサルタント。

（年商1,000万円以上を稼ぐ独立コンサルタント等が実践している、顧客開拓のセオリーをマスター）

独立コンサルタントや士業の方が押さえておきたい「セルフ・マーケティングの基礎」について、重点的に講義した。

また、某媒体社が運営している「独立コンサルタントや士業のための顧客開拓支援サービス」起ち上げを主導し、様々なコンサルタント等の顧客開拓支援に関わった経験をもつ経営士が事例等を用いて、顧客開拓のために押さえておきたいポイントについて解説した。

**◇午後（4時間）：児玉 充晴 講師**

中部大学　経営情報学部　教授。

（過去31社との顧問契約、20年のコンサルタント実績を持つ）

自分の商品価値を棚卸ししたデータベース構造について、企業の知りたいことに答えを示すホームページの形で整理して、広報する方法を解説した。

顧問企業の獲得に向けての人脈形成など基礎となる活動を多くの事例での実際の活動を紹介するとともに、顧問先からの問い合わせから、「顧問を頼みます」と言わせるまでの契約に至るプロセスと顧問料や顧問内容などの契約上の留意点を説明した。

さらに、実際の顧問活動の進め方と発生課題への対応方法の実態ノウハウを多くの事例をもとに紹介した。

■**【参加者】** 7/7（土）は13名（うち非会員1名）、7/28（土）は7名の受講者であった。

■**【アンケートでの満足度の結果】**

きわめて好評価であった。

7/7　午前：平均 8.7点/10点　午後：9.3点/10点

7/28　午前：平均 9.8点/10点　午後：9.7点/10点

■**【受講者の声】** 両日での集計

（1）1回ではなく数回に分けてシリーズものにして開催してほしい。（9名）

（2）地方でも開催してほしい。（4名）

（3）それぞれの内容を続編でもっと深く知りたい。（3名）

（4）経営心理学、営業心理学、算命学を、別セミナーで教えてほしい。（3名）

（5）人的面での事業承継に特化して、セミナーをしてほしい。（2名）

（6）その他　（各1名）営業心理学、コンサル業につながるマーケティング方法、ホームページ作成のノウハウ、採用のノウハウなど

■**【今後の講座開催検討】**

非常に好評価であり、もっと深く知りたいという声が多いことから、これを参考に、顧問企業獲得につながるコンサルノウハウ習得のためのシリーズものや、地方での開催など、今後の講座開催を検討する。

（児玉 充晴）

寄付講座

# 産業能率大学・寄付講座・実施報告

8月11日（土）～12日（日）　産業能率大学　自由が丘キャンパス7号館にて寄付講座を実施しました。本年度から講座名を「実務家が教える中小企業経営」に変更しました。今までにも増して一層、実践的な講義構成にしました。

受講参加申込は27名で1名欠席のため実質上26名の参加となりました。

受講されました皆様は熱心に授業に参加され2日間の授業を集中して取り組まれました。昨年のアンケートからMPPは初日にした方が交流が図れて良いのではないか。との意見を多数いただいておりましたのでカリキュラムの編成変えをしまして、対応いたしました。

懇親会では異業種の方々やコースが異なる方々も横の交流が図れて好評でした。

日本経営士会への関心も高まり、現在、経営士として入会希望が3名、経営士補としての入会希望が7名おられ、合計10名の方々が入会される見込みです。寄付講座の企画・運営にあたりご協力いただきました産業能率大学の職員の皆様・講師の皆様・事務方の皆様・サイドから支援いただきました皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。

（専務理事　近藤 安弘）

（写真は全て授業の様子）

委員会活動

# 企業リスク回避にはCSR導入を

環境CSR事業部

## ● リスクマネジメントにはCSRで

CSRを企業に導入するメリットは企業が社会的責任を果たせば競争戦略上の優位性を導き、かつ企業の評価を高めるという効果があります。またリスクマネジメントにもなります。

CSRの導入のメリットについては別の機会に譲りますが、今回は「CSRがリスク回避にも役立つ」ことについて述べます。

## ● ISO26000の7つの中核主題と7つの原則

環境CSR事業部が中小企業にも導入しやすい、「コンパクトCSRシステム」（C.CSR）（商標登録申請中）を構築しました。このC.CSRの「取り組み自己チェックリスト」にはガバナンス（組織統治）、消費者への配慮、公正な事業慣行、環境保全、人権、雇用、コミュニティの大項目があります。

これらはISO26000（2010年にISOより発行された「社会的責任に関する手引き」）の中核主題と一致しています。同じくISO26000には7つの原則、即ち説明責任、透明性、倫理的な行動、ステークホルダーの利害の尊重、法の支配の尊重、国際行動規範の尊重、人権の尊重があります。これらの7つの中核主題、7つの原則を企業に当てはめて企業経営を行ってゆけば、企業リスクが回避されやすく企業の持続性も高まります。

## ● ISO26000の「中核主題と原則」が守れないと企業リスクが発生

例えば

①ガバナンス（組織統治）、公正な事業慣行には法令遵守、社会通念から逸脱した行為を戒めています。また贈収賄、財務諸表の虚偽記載、インサイダー取引などもCSRは関係します。

事例：東芝の粉飾決算、フォルクスワーゲンの排出ガスのデータ改ざんなど例は沢山あります。

②人権とか労働慣行では、長時間労働、サービス残業など人権を無視した労働を強いる企業はまだ多くあります。

事例：電通の社員高橋さんの過労死。

③環境面では脱化石燃料化で地球温暖化阻止の一面もありますが、廃棄物の不法投棄、土壌汚染など気配りが必要です。

事例：製紙会社が、古紙の再生過程で発生する廃棄物を産廃処分業許可のない業者に処理を委託し、処分業許可のない業者が山林に不法投棄したため、担当者が逮捕された。

④中小企業の一番の経営課題は売り上げの増大です。（倒産原因の約70％が販売不振）

顧客ニーズの変化の見逃し、消費者不在の経営、価格設定の不備、ネットでの誹謗等による販売不振。

事例：食肉業各社による食肉偽装、食品に対する消費者の不信感が増大。消費期限切れの食品のデータ改ざんによる販売。

⑤地域との連携、コミュニケーション不足による企業の目に見えない損出など企業のリスクとCSRは密接に関連しています。

事例：名古屋の山川醸造は蔵を年2回市民に開放。地域商店とコラボした醤油スイーツを開発。地域とはWIN、WINの関係を築いています。

（環境CSR事業部　福井 浩）

委員会活動

# 経営士・経営士補の皆さまへ 環境・CSR支援「環境経営士」資格取得のお勧め

環境CSR事業部

現在、経営士として経営指導なさっておられる方々に、本会の経営支援の1分野である環境保全、CSR経営の支援を行う「環境経営士」の資格を取得して環境保全やCSRについても支援されることをお勧めいたします。

今までの経営支援に一層の幅をもった経営支援ができ、環境、CSRからの企業コンサルへのアプローチも可能となります。

資格取得には下記講座を受講していただきますが経営士会の年会費等の追加はありません。

◆第48回環境経営士養成講座、場所：日本経営会会議室、時間：10:00 ～ 17:30

ベーシックコース　　期日：9月15日（土）　会費：13,000円

アドバンストコース　期日：9月22日（土）、23日（日）　会費：25,000円

上記の会費には「環境CSRと経営」公式テキストB5版　257ページが含まれています。

なおこの講座は環境省、経済産業省、農林水産省、国土交通省、文部科学省の「環境人材認定機関」として登録されています。

◆また今後の「環境経営士養成講座」の日程は本部と各支部の予定は下記の通りです。

●本部

| コース名 | 9 月 | 11 月 | 2019 年 1 月 | 3 月 |
|---|---|---|---|---|
| ベーシックコース BC | 15 日（土） | 10 日（土） | 12 日（土） | 9 日（土） |
| アドバンストコース AC | 22 日（土）<br>23 日（日） | 17 日（土）<br>18 日（日） | 19 日（土）<br>20 日（日） | 16 日（土）<br>17 日（日） |

開催場所　本部会議室　詳細（9月開催分）は「環境経営士」で検索、ホーム（トップページ）お知らせWhat’s Newでご確認お願いします。

●東北支部

BC：11月18日（土）、AC：12月15日（土）・16日（日）

開催場所　仙都会館　詳細は「環境経営士」で検索、ホーム（トップページ）お知らせWhat’s Newでお願いします。

●中部支部

2018年下期開催予定

●中国支部

2018年下期開催予定

●九州支部

BC：9月22日（土）、AC：9月23日（日）・24日（月祝祭日）

開催場所　スープル大分ビル　詳細は「環境経営士」で検索、ホーム（トップページ）お知らせWhat’s Newでお願いします。

●埼玉支部

8月に実施すみ。

以上、お申込・お問い合わせ等は　日本経営士会本部（03-3239-0691）又は各支部に電話でお願いします。

（環境CSR事業部）

委員会活動

# MPP委員会からのお知らせ

MPP委員会

7/1(日)13：30から17：00　本部会議室で「新時代の経営者・管理者・社員能力プログラム」として第43期から第45期の経営士養成講座修了者並びに推薦入会者を対象にMPP研究会が開催されました。その模様を報告します。

日野隆生氏と臼倉恵美子氏をリーダーに2チームで熱い討論が繰り広げられました。こうして、MPP体験者が増えることは委員会としても嬉しいことです。

(Aチーム討議風景)

(Bチーム討議風景)

(チーム発表と講義)

## ＜参加者感想＞

45期　安島 常貴 氏

意見と意見がぶつかり合い、しかし、議論をしているうちに問題意識が次第に共有され、参加者の垣根を越えてチームとしてベストの選択をすることができる。これを前職のトヨタ・グループでは「仲良く喧嘩する」と呼んでいます。

同様に模擬体験出来るのがMPPであり、自分の足りない部分も明確にする事が出来る素晴らしいプログラムだと考えます。今後共、MPPへの参加を通して、様々な事を学ばせて頂きたいと思いました。

MPP(Management Professional Program)は(一社)日本経営士会が商標登録する「ケースメソッド方式による共同討議研究」です。

**新年度のMPP委員が決定いたしました。**(敬称略)

MPP担当理事　佐藤光子

MPP委員会　委員長：桒山一宏

委　員：豊田賢治　島影教子　日野隆生　一瀬良之　河上　晃　岩井美喜夫

顧　問：平山道雄　阿部幸男　塚本裕宥

事務局：田中洋子(本部事務局)

委員会活動

# 資格審査委員会の活動について

資格審査委員会

委員長　戸部 廣康

資格審査委員会は、担当理事以下新しいメンバー構成となり、6月22日の第64回社員総会の承認を経て、活動を開始しました。当該委員会は、経営士会に属する10ほどの委員会の一つです。当該委員会の役割・使命は明確で、言わば日本経営士会の「門番」の役割と思います。会社、学校における入社、入学など、その組織の目的の達成に役立つ能力・条件を有する者にのみが、その組織・団体への入会が許可されます。日本経営士会の目的は、定款の第3条によれば、「本会は持続的発展をめざす企業・団体の事業相談・支援などを行い、国内外の経営・社会の発展に寄与することを目的とする」(2018.6.22変更)と記載されています。一口で言えば、「日本の産業界・社会への貢献」です。この目的の達成に必要な能力を有し、かつ会員に相応しい人格を有する人物を選別し、入会を許可するのが当該委員会の役割になります。具体的には以下の4つの役割になります。

1．経営士養成講座修了者並びに経営士補養成講座修了者の審査
2．ペーパー試験の受験による、経営士の入会審査(試験問題作成も行う)
3．推薦条件を満たす人物で、推薦入会希望者の入会審査
4．準会員(経営士補)から正会員(経営士)への昇格審査

上記の項目2については、現在受験希望者が少なく、対応を急がねばなりません。

上記の項目4につきましても、経営士補及び経営士の位置付けを明確にしながら、現在、具体的な昇格条件について、纏めの段階に入っております。この紙面をお借りして、資格審査委員会の役割の紹介、及び現在の課題を皆様に認識戴くと共に、会員皆様のご支援・協力を、委員長としてお願いする次第です。

又、会員増の為の色々な仕組み作りに関しては、本部や「中日本ブロック会議」(中日本ブロック担当理事：鈴木和男会員)と協力しながら、迅速に対応したいと考えております。尚、当該委員会の構成メンバーは、以下の通りです。

担当理事：津田　嵩(本部業務執行理事)
委 員 長：戸部廣康(南関東支部長)
顧　　問：平山道雄
委　　員：石井政夫(本部監事)、篠澤勇作、日野隆生、大森　隆、定野　淳

# 女性経営士の会NJK活動報告

7/17日　恒例になりました、中部大学東京サテライトでのNJK外部セミナーが開催されました。お陰様で今年も満席でした。猛暑の中、また平日にもかかわらずご参加いただきました皆様に御礼申し上げます。

今年度のスピーカーは、株式会社エステムの代表取締役社長　塩崎敦子氏です。テーマは「駆け抜けた1年8ヶ月、水環境トータルソリュージョンビジネスを目指して」

工学部化学工学科を卒業し、「水をきれいにする仕事がしたい！」という強い思いで排水処理場メンテナンス業務の会社に入社。技術系社員として、水処理プラントの設計、施工、メンテナンスの業務に従事。チームリーダー、部長職と上り詰め、新設の環境ソリューション部でマネジメントに挑戦。その後、取締役になったことを機に中部大学経営情報学部経営学科に通いMBA取得、2015年修了。2016年11月末に代表取締役に就任した経歴を持つ女性社長です。そのサクセスストーリーと継続的社会貢献への取り組みに対する強い信念を伺いました。

講演会後半は、ゲストスピーカーの師でもある、中部大学経営情報学教授の児玉充晴氏によるアフター講義「経営困難を乗り切るクライシス・マネジメント」です。奇しくも師弟登場で大いに盛り上がった1日でした。

## これからのNJK

- 8/25(土)13：00～　東京富士大学にて「WOMAN MPP in 東京」 開催
  東京支部とのコラボで女性リーダーによるMPP研究です。　外部参加可能
- 第52回全国研仙台大会、10/6　講演者への質疑で登場予定。
- 東京ウイメンズプラザフォーラム参加が決定しました。10/28(日)14：30～17：00
  「多様化する働き方 ～起業女子から学ぶエンカレッジ～」。　外部参加可能

---

○NJKは男女の差なく、会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。
○NJKとコミュニケーションの輪を広げましょう。コラボ希望の支部随時募集中。

【お問合せ】TEL：090-1812-9812　島影(bzu03624@nifty.com)

研究会報告

# 創立25周年記念祝賀会及び記念誌出版パーティ開催

TAMAマネジメント研究会

TAMAマネジメント研究会（TAMA研）は平成5年6月に誕生し、創立25周年を迎えました。

TAMA研の基本理念は、常に今を見据えて「明日をつくる」ことをモットーに日々研鑽し、「会員の友情と絆」を大切に多摩地域産業の発展に貢献することにあります。

TAMA研は、日本経営士会の会員が母体となり、創立者故山本功氏、2代目代表故石川賢太郎氏、3代目代表長谷川正博氏、4代目代表松尾實氏に引き継がれ、会員も経営支援能力の向上を目指して、経営士・中小企業診断士・技術士・弁護士・税理士・社労士など専門家や企業経営者などが横断的に集まって研鑽している他、企業を訪問して実践的な経営相談・支援も行っています。（会員70名）

現在、TAMA研は、誰もが参加できるオープンな研究会として、毎月立川にて定例研修会を開催しています。どうぞお気軽にご参加いただきたいと思います。

それでは開催されました「創立25周年記念祝賀会及び記念誌出版パーティ」についてご報告いたします。

・開催：6月23日（土）17時～19時　立川ビアホールで実施（参加者28名）

・パーティはTAMA研代表の松尾實氏の開会あいさつに始まり、日本経営士会専務理事近藤安弘氏による来賓のご挨拶をいただき、理事・東京支部長　鈴木和男氏による乾杯のご発声で懇親会がスタート致しました。

（松尾實代表のあいさつ）

（鈴木和男理事・東京支部長による乾杯）

・懇親会では「TAMAマネジメント研究会の歩み」がスライド放映され、当時の懐かしい写真が写し出されると皆さんから笑顔・笑い声がこぼれ、和やかなうちに行事が進行しました。

・今回、会員25名より寄稿され編集・発行されました創立25周年記念誌「明日をつくる」が披露され、皆さまに感謝を申し上げました。皆さまからは、コンサルタントしての「執筆者の素晴しい着眼点と有益な提言」に称賛のお声をいただきました。

その後、TAMA研の新しい会旗（旧会旗が破損）を松尾代表より披露致しました。

・出席された全員の皆さまからは、心に残るスピーチをいただき、感激のうちに平山道雄会員による閉幕のごあいさつで、パーティが盛会裡に終わりました。

（創立25周年記念誌）

（TAMA研「会旗」）

（祝賀会の様子）

これからもTAMA研は、コンサルタント集団として切磋琢磨し、努力してまいりますので、ご支援よろしくお願い申しあげます。　以上

［TAMA研 HP　http://tamaken.o.oo7.jp］（山本 忠 記）

寄稿

# 武術と健康に関する話　（第8回）

平　直行

## ■ 骨を叩いて体をほぐす。

日本語には骨に関する言葉が沢山あります。骨身を惜しまず。骨身にこたえる。骨身に沁みる。骨の髄まで。骨が折れる。骨折り損のくたびれもうけ。等など沢山の言葉があります。日本人は日常的に骨に関する言葉を使用してきました。骨格は体の一番奥にあり、体を支え一緒に動きます。体が良く動く時には骨の周辺の筋肉も動きます。ここが動く事で筋肉は奥から動き正常な状態を維持します。

骨身を惜しまずとは文字通り体全体を使い誠心誠意取り組むということになります。体全体を奥から(骨格から)動かす機会を喪失した現代の腰痛や肩凝りの問題は骨格を動かす事で消えてゆきます。実際に骨格を奥から動かす事をしなくとも、骨格の周辺を叩くと筋肉が反応して凝りがほぐれていきます。骨の周辺を叩くことで解消するやり方を今回はご紹介します。職場や家庭にて簡単に短時間で出来るやり方です。

首や肩が辛い人は大体この辺りを揉んで欲しいと思ったりします。

首の付け根辺りが硬いと辛くなります。調度その辺りに骨が出ている箇所があります。少し背中を丸めてもらってから骨の出ている箇所の周辺を軽く叩きます。指先でトントン軽く叩きます。20秒も叩くと首が楽になってゆきます。

肩甲骨の周辺も辛くなる箇所です。

肩甲骨の周辺も同じように軽く20秒くらい叩きます。

腰痛の場合は骨盤の上辺りを軽くトン叩きます。骨盤は大きいので30秒くらい叩くと良いと思います。

叩く時のコツは軽く、そしてリズミカルにトン叩くと効果が大きくなります。

更に効果が出るには体を捻じってもらって叩きます。

腕を上げてみます、引っかかるような感じがしたら、あえて辛い角度にして肩甲骨と首の辺りを叩きます。辛い角度にすることで辛い箇所に効果が出ます。

骨が動かないことが原因である筋肉の張りは、骨の周辺を軽く叩くことでほぐれてゆきます。

肩や腰を揉むのは、やる側に負担がありベッドのような場所も必要になります。

お互いにストレスにならすに、立ったまま出来る簡単な解消法です。ポイントは強くやらないことです、軽くリズミカルに行なってください。テーブルなどを指先で軽くトントン叩いてみてください。自分の指が痛くない加減が相手にも程よい叩く加減になります。

前回の自分でやる運動と合わせて職場や家庭で行うと体が大分楽にそして元気になってゆきます。

**平直行の新作DVD**

温故知新操体法　好評発売中　（http://chirobasic.co.jp/taira/dvd1/index.html）

会員の輪

# 『経験則を土台にイノベーションする』

正木 亮介(近畿支部)

(「経営者会議」での営業社員教育風景)

皆様、こんにちは。近畿支部　幹事の正木亮介です。

私は銀行に17年間勤め、その後脱サラして「資金繰り改善コンサル」を始めました。このように書くと、金融機関対策の専門家のように思われますが、入り口はそうであっても、実際は中小企業の体質改善が主業務です。

「資金繰り」は経営のやり方によって変わります。資金繰りの悪い会社は経営のやり方がまずいのです。何がまずいのかと言うとマネジメントです。

経営はマネジメントといいますが、マネジメントはマネージャー(管理職)による管理業務という意味も含んでいることをまずは相手先に理解して貰う事から始まります。

すなはち「経営」=「管理」なのです。「管理」が甘いと、利益やお金が抜け落ちます。

すると、「資金繰り」が悪くなります。「管理」を改善せずに経営を続けると「資金繰り」はどんどん悪化します。これが私の前職での貴重な経験則です。

それでは、「何を管理するのか」というと、「**ヒト**」「**モノ**」「**カネ**」「**時間**」「**情報**」です。

これを「**管理5項目**」と呼んでいます。中小企業は売上ありきで経営をしているところが多いので管理業務が体系化・概念化されている会社は少なく、「**管理5項目**」という発想で徹底する必要があります。例えば、

■「ヒ　ト」

人を大切に扱う。思うように動かない、と言う前にこちらの希望をきちんと伝える。頼んだことを確実にやってくれているか、常に気にする。時間内にやりあげる癖付け、作業のスピードアップする工夫を称賛する。役割分担の確認、越権行為のチェック、報告・連絡・相談の励行、責任感の醸成。人的ネットワークの構築、人の育成、気遣いが出来ているか。

■「モ　ノ」

あるべきものが決められた場所にあるか。在庫、備品、パンフレット、契約書類。壊れたものや不要なものが放置されていないか。鍵、各種カードなど、大切なものをいつ誰が使用しているか分かる授受簿や記録簿があるか。

■「カ　ネ」

銀行の出納、残高の管理。小口現金、経費のチェック、売掛金の未回収、買掛金の未支払いがないか。請求書の発行洩れがないか、小切手・手形・通帳・切手・収入印紙の管理の徹底。

■「時　間」

時間が守られているか。お客さんとの約束時間、納期、出社時間、退社時間。請求書の発行や経理関係書類の処理が遅くないか(翌月、中旬までの試算表完成)。スケジュールの管理。自分の営業目標が期間内にクリアされているか。

■「情　報」

顧客情報が常に整理され共有されているか(顧客の名刺は個人のものではない。会社の財産であり共有するもの)。個人情報の漏洩はないか。情報は更新されているか。情報の管理にルールはあるか。これら「管理5項目」を私の開発した「経営者会議」という場を用いて、会社の文化となるように指導しています。

「経営者会議」は**目標意識の高揚**と**実行力アップ**、**管理5項目の徹底**を図るための定例会議ですが、これに関しては弊社ホームページに詳述してありますのでご興味のある方は、「シーマ・ネット、企業経営相談」http://www.cimanet.co.jp/service/management-consultation/を検索ください。

何かのお役に立てば幸甚です。ありがとうございました。次回は、近畿支部の辻薫会員にお願いします。

会員広場

# 【プロレスと経営】第九回

堺　剛

最近、ベテランレスラーと話す機会が与えられた。

彼が強調して言っていたことは「最近のレスラーは基本ができていない。試合の中で大技を乱打しすぎる。お客へのウケばかり考えておりお客を手のひらに乗せることを考えていない。興行の流れの中での自分の試合の位置づけを考えていないから、第一試合からメインイベントまで同じ内容の試合になる。これではお客が疲れるだけ。もう一度基本に立ち返るべきである。」

日本プロレス界の基礎を築いた馬場と猪木はプロレス観が全く違っていた。プロレスの醍醐味は攻めであるとする猪木に対して、馬場は受け身を大事にした。攻める猪木のプロレスの方がファンからすると格好良くそして強く見えた。しかし馬場は受けがあってのプロレスという姿勢を崩さなかった。

ちなみに私が子供の頃憧れた外国人レスラーMMは華麗に攻めるため格好良く見えた。テーマ曲のように空高く飛ぶ彼のようになりたいと憧れたものだ。しかし、今、彼の試合を見ると対戦相手の受けの上手さの方に目が行く。攻め一辺倒の彼は、受けが上手くないようにも見える。誰が対戦相手であってもMMの試合になってしまい“攻防”にならないのだ。

馬場の新弟子訓練はいたってシンプル。先輩レスラーにとことん投げさせる。新弟子は何百回も何千回も何万回も投げられ背中が分厚くなって初めてプロレスラーになれる。どんな技でも受け身を取れるのが良いレスラーであり、それができて初めて試合を組み立てることができるようになるのだ。

さて、平成になりいろいろなことが変わった。プロレスは団体が乱立したため老舗団体が保有していた“王道”は、漏れなく継承することができなくなった。新弟子を丁寧に育てる時間も無くなってきた。

プロレスの“王道”は時代と共に変化していく。しかしながら絶対に変えてはいけないことが一つだけある。相手に対する思いやりだ。思いやり無いところに信頼関係は生まれない。ゆえに相手に自分の身体を委ねることはできない。

故ジャンボ鶴田は決め技に行く前、必ず対戦相手に「Thank You」と囁いたらしい。感謝の気持ちを伝えることは、言うまでもなく、同僚との人間関係を潤滑にするために必要なことだ。プロレスだけでなく実社会も受け身が大切であることは言うまでもない。（続く）

**堺　剛：**
株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。経営士(会員番号5384)、環境経営士(認定番号244)。全国理容生活衛生同業組合連合会、バンダイビジュアル株式会社において経理を幅広く体験。中小企業・外資系企業数社で経理係長～経営管理部長を務めたのち2017年4月株式会社バーニングスピリッツを設立した。①心温まるハートタイム経理部長サービス ②お菓子を用いた宣伝物の企画・製作 ③政策リサーチを利用した補助金・助成金・入札情報提供、等を行っている。
ホームページ：https://www.burningspirits2017.com/
電話番号：090-2733-0185　E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

支部活動報告

# 東北支部のイベント及び新会員紹介

東北支部

## 1. 山形MPP合宿のご案内

東北支部では、以下の通り山形県の銀山温泉にてMPP合宿を開催します。

日時：2018年11月3日（土）～ 4日（日）

場所：山形県銀山温泉　銀山荘

会費：2万円程度（宿泊代、飲食代、込）

トライアルケースは、実際に東北支部会員が支援している実際の企業を予定しておりますので、リアリティ溢れる内容です。全国から参加者を募集しますので、ぜひご参加ください。詳細は東北支部HPをご覧ください。

## 2. ブラッシュアップ研修のご案内

東北支部では、以下の通り仙台市にてブラッシュアップ研修を開催します。

日時：2018年9月29日（土）　10時～12時

場所：深田会計マネジメンツ研修室

東北支部資格登録後も会員の研鑽を図るため、定期的にブラッシュアップ研修を開催しております。今回のテーマは、佐藤会員の「平成30年度　税制改正要点」、阿部会員の「通販大手Amazonへの出店と課題」、鏡会員の「事業再生の現状と再生手法」、です。参加自由ですので、他の支部の皆さんもぜひご参加ください。詳細は、東北支部HPをご覧ください。

## 3. 経営士補養成講座開催のお知らせ

東北支部では、以下の通り仙台市にて経営士補養成講座を開催します。

日時：2018年10月13日（土）～ 12月1日（土）の5日間　10時～17時

場所：深田会計マネジメンツ研修室

会員の方々のお知り合い等で、仙台市にお近くの方おられましたら、ぜひご紹介いただければ幸いです。詳細は、東北支部HPをご覧ください。

## 4. 新会員のご紹介

皆様こんにちは。東北支部所属の梅津周子と申します。東京商工会議所の環境社会検定合格者（通称エコピープル）から2017年3月に東北支部第1回環境経営士養成講座を受講し、環境経営士に登録しました。同年の経営士補養成講座を受講した後、先月、経営士に登録致しました。これまで食や環境の市民活動に関わってきたことで、生産者、販売者、飲食店、各々に於ける取組みや悩みなど、お話しを伺う機会が多々ありました。今後は、そうした地域の方々の相談に乗れる経営士、及び環境経営士として成長していければと思います。

（新会員の梅津周子さん）

# 千葉支部　活動報告

千葉支部

中小企業においては、深刻な人手不足、モノがつながるIOT.AI等を活用した生産性改革、人生100年時代の社会等の課題に対し、顧客価値の実現に向けた取組みが必要になってきています。2020年東京オリンピック開催、2019年消費税10％引き上げ、今年2018年は、千葉支部にとって、成長への基盤づくりと考えています。

## 1.「中小企業3Cの会」発足と活動について

千葉支部は平成30年度から山田支部長の新体制で、中小企業経営者と専門家たちの経営改善コラボレーションをすることにしました。具体的には、千葉経営支援センターで、厳しさを増す中小企業事業者へのお役立ちとして「中小企業3Cの会」を立ち上げました。経営課題の解決を支援する活動を進めていきます。

3Cとは、Chance、Change、Challenge、即ち“チャンスを掴み、社会の変化に企業と私たちも変化し、挑戦をしていく”ことを念頭に、中小企業事業者の方とわれわれ士業がコレボレーションを行う場として活用していく会です。

**活　動　方　針**

**◆組織・団体の枠組みにとらわれず広く意を同じくする同志を集め、厳しさを増す経営環境を乗り越えるための行動を起こす基盤をつくる。**

**◆国、自治体の提供する支援策と企業動向を把握し経営問題解決に資するための新たなアクションを検討、実現することで企業活動の更なる向上を図る。**

**◆様々な専門スキルを持つ士業と企業経営者とのコラボレーション活動を通じて新たな事業活動の枠組みをつくり、地域貢献に繋げていく。**

具体的には、【1】県内商工会議所等経済団体との協力体制を強化し各種セミナーの企画・開催を通し受講者・中小企業経営者との仲間づくり。【2】千葉県経営者協会との関係強化による異業種間の情報交流とビジネスチャンスの拡大。【3】地元大学とのコラボレーションを通じ中小企業の経営強化につながる事業活動のタネづくり等を行っていきます。

一緒に中小企業への支援を共に活動できる会員の皆様、毎月月末の土曜の研究会にご参加ください。

今後の予定は、平成30年9月29日（土）、10月27日（土）、11月24日（土）、12月15日（土）の午後3時から午後5時です。場所は、船橋中央公民館（千葉県船橋市本町2-2-5）JR船橋駅から徒歩約7分、または京成本線京成船橋駅から徒歩約5分です。問い合わせ先等については、山田一 enshin@js4.so-net.ne.jp　まで

## 2. 中小企業会計セミナーの開催

ここ数年、商工会議所や青色申告会にて、中小企業会計セミナーを千葉支部の会員が講師として、中小企業会計啓発・普及セミナーの共同開催をしています。今年度は、習志野商工会議所2018年9月9日　基本編、千葉商工会議所　10月5日　基本編／10月19日　応用編、船橋商工会議所　11月5日　基本編／11月19日応用編の開催を計画中です。

## 3. その他

例年9月には、千葉県経営者協会において、「ケースメソッドによる管理者・幹部社員意思決定研修」を開催しています。昨年度は、他に「若手・中堅社員に求められる実践的ビジネススキル」、「人不足時代の人事戦略を考える」のワークショップを開催し、多くの参加者があり好評でした。来年2019年度に向けて、新しい提案をしていきます。講師になれるチャンスもありますので、毎月行わる研究会等にご参加ください。

以　上

（金子 昌夫 記）

支部活動報告

# 2018年度第2回　茨城県会公開MPP　開催結果

北関東支部

新役員の皆様、経営士会の宝であるMPPを大切にすることを重ねて期待します。

茨城県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛け、2018年度第2回公開MPPについては千葉、埼玉支部を含み、計8名にご参加いただきありがとうございます。今回は、前記2支部会員のご協力、ご参加で目標の2チームになり、少数会員の茨城県会、参加者に感謝です。従来の報告内容を変え、MPPに更なる魅力を付加したいと考えます。

MPPは、経営士能力開発講座→経営能力開発講座（士を削除）→MPP（商標を取得）と変遷した経緯があり、根底にあるのは思考力の養成、その内容は大～零細の企業研究であり、広く組織研究と言えます。皆様如何お考えですか？　皆様、再確認お願いします。

定期的にMPPを開催、使用ケースの採用に苦労します。ケース作成にも心掛けたい。

今回はトライアルケースを探し当て、MPPを実施したので概要を以下に示します。

1. 開催日：2018年7月21日（土）
　　13：30 ～ 17：00（事前の情報交換的説明等、終了後検討会　各15分間）
2. 参加者：2チーム、計8名（県内6名・県外2名）（前年度内の入会3名）
3. 開催場所：ひたちなか市　ひたちなか商工会議所
4. 使用ケースコード：トライアルケース
5. 題名：日本の家具業界が衰退した理由と活性化対策
6. 終了後検討会：質疑応答を含み計15分間
7. ケース選定の理由：筆者は元MPP委員。MPPを継続開催すると、採用ケース探しに苦労する。未選定ケース払底の状態であり、苦労して探したのが本ケースである。
　お世話係としては、過去と同一ケース採用は避けたいのが本心である。
8. チーム編成と会員外（今回は0）参加者について：
　1）各4名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。
　　6名／チーム　では多過ぎ、4 ～ 5名／チーム　は活発な討議になる。
　　3名／チーム　でもMPPは開催可能である。他支部等でも試みて欲しい。
　　当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。
　2）今回は前年度内入会の参加あり。参加者に感謝。広く呼び掛けが大切、続けたい。
　　終了後、懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い、相互理解を深めている。
　　今回も地域密着型のビジネスにも対話が及び、情報交換は有意義である。
　　次回開催の新ケース作成の下準備ができたと思えるのは収穫である。
　3）日刊工業新聞社　今回も遣り繰り不可だったが、茨城支局等にも働き掛けている。
9. 参加者の感想等：書きにくいことは承知、指摘事項を直截的だが敢えて記載する。
　1）このケースには、経営者の悩みとも言える経営課題が見えない。

経営者への確認や聴取が見えず、教条的ケースでMPPの本質を追求しにくい。
家具店・卸業者・製造業者、その他の関係者に当たり、生々しい声を聞く等の実態確認をして、ケース作成したらどうか。各種紙面等の間接的情報収集も可能か？

2) 戦後の日本の林業（山林）政策は、杉、檜の人工林に偏り過ぎた感がある。
木材を家具生産に使うようなことは考えてなかったと推定できる。そんな状態で、日本の家具業界の衰退を憂えても、意味が少ないと思えるが如何だろうか。

3) 長期的傾向として、家具はマンション等の集合住宅、戸建住宅を問わず、造り付けの方向に進み、各単品での供給が減少、業界の縮小は当然である。ビルトイン化の進展（ライフスタイルの変化）であり、家具業界の衰退は当然とも言える。
それに対応した業者のみ生き残ったと言える。今後も衰退する業界であろう？

4) 以上のことを勘案、設問の「日本は世界で第3位の森林資源に恵まれた国であり、その資源を有効活用して、輸入家具に対抗したイノベーション型の家具業界にするには何がポイントになるか」は、意味ある検討がしにくい設問である。

5) 日本の杉、檜が主体の山林の実情から、バイオマス利用の発電等も考えられるが、頓挫しやすい実態か？　地方でバイオマス利用の産業を興そうとすると、全国規模の資本による業者の潰す力が働いている様子である。他支部からの情報である。
以上のように歴史から学ぶのも一方法であろう。温故知新と言えるだろう。

6) 旧知のメンバーであるが、自己紹介は話題の尽きない最近の状況報告で適切だった。
次回は新ケース作成の機運があり努力してみたい。各位のご協力に期待する。

7) 2チーム構成、3支部に及び、各支部の特徴が出てよかった。
MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。

8) リーダーの資質（基本的技量）の向上にも、参加者全員で取り組みたい。

MPPは企業経営に役立つとの感触を得ており、敢えて従来同様を重複記載します。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。
9／1　東京支部　開催予定のMPPリーダー更新等研修につき、周知済みです。
近隣支部と当県会からご参加の予定であり、ご参加の皆様ありがとうございます。

（写真提供　茨城県会　橋本 琢磨会員）
（茨城県会　MPP　お世話係　塚本 裕宥）

＊写真は「MPPの様子と集合写真」

支部活動報告

# 北関東支部　新潟県会　第19回公開MPP　開催

北関東支部新潟県会の2018年度第一回公開MPPは、一般社団法人新潟県経営支援センターの合宿セミナーの日程に合わせて、柏崎市高柳町門出(かどいで)地区の「門出かやぶきの里」で、・桑山一宏北関東支部長・磯部正美新潟県会長・木村泰博会員・西山茂会員・松井進一会員・渡辺良男会員の6名と、一般から・鈴木裕之氏・粉川雅人氏・原沢亮太氏の3名、計9名の参加を得て7月14日(土) ～ 15日(日)の一泊二日の日程で実施しました。以下にその概要を報告致します。

**■14日12時30分～　新潟県会、新潟県経営支援センター共催　現地視察研修**

**【伝統的和紙製造と日本酒ブランディングのコラボレーション】**

日本全国に知名度のある新潟県の最高級日本酒「久保田・萬壽」のボトルラベルの製造を一手に手がけている手すき和紙の工房「高志の紙工房」(こうしのかみこうぼう)を訪問し、工房を主宰する小林康生氏から「雪深い越後の紙屋が原料の楮(こうぞ)を育てて雪の季節に紙を漉き、春の陽で紙を干す・・・」という伝統の和紙創りのこだわりと、「地元の米と水を用い、先人たちから受け継がれた技で、誰からもおいしいと喜んでいただける酒を造る・・」という酒造りのこだわりの出会いから、手すき和紙を最高峰の酒のラベルとして完成させるまでの経過をお話しして頂きました。

大正時代には門出地区で200戸程が冬の副業として漉いていたが1973年には小林氏の生家1戸のみとなった事、1986年に「越後、門出和紙」としてブランド化した事、久保田のボトルラベルとして大量生産を引き受ける事のリスク対策、産業として普及させるための戦略など、非常に意義深い内容でした。

小林康生氏の講演(高志の紙工房にて)

MPP会場の「おやけ棟」

ディスカッションと宿泊の「いいもち棟」

■14日14時～　新潟県会主催　【公開MPP】

「門出・田代べとプロジェクト」が運営するかやぶき屋根で囲炉裏を備えた民宿『かやぶきの里』の古民家「おやけ棟」を会場にし、2チームでトライアルケース【E社の品質不祥事対応　～F主任の悩み～】で公開MPPを実施しました。

このところ企業の不祥事、事件が相次いでおり、海外でも「果たしてMade in Japanは大丈夫なのか」、「日本企業になにが起こっているのか」と疑問視されている状況に注目し、具体的な企業不祥事の事例を参考にしたE社のケースについて、① ガバナンスの観点、② コンプライアンスの観点、③ CSR(企業の社会的責任)の観点、④ 会社風土、職場風土の観点、⑤ 人材育成の観点、⑥ 失われた20年の影響、⑦ 不祥事事例の共通性、などを活発に討議しました。

発表は、Aチームは機械装置メーカーの社員である粉川雅人氏、Bチームは自動車関連機器・モジュール製造メーカー社員の鈴木裕之氏が担当し、両氏とも公開MPP一般参加の常連であり、説得力のある発表でした。

Aチーム　粉川氏の発表

Bチーム　鈴木氏の発表

■14日18時～　新潟県経営支援センター主催　【合宿デスカッション】

会場を移築した古民家「いいもち棟」に移して「農村と都会をつなぐ産業育成」についてデスカッションしました。

・現地視察研修テーマ「越後、門出和紙」をラベルに使った「久保田・萬壽」の試飲
・参加者も杵を振るってついた餅や、囲炉裏で焼いた鮎の串焼きの味見
・当日開催されていた門出集落の祭り「稲虫送り」の見学
・金星がどれか迷うほどの満天の星空
・夕暮れは「ひぐらし」、夜は「かえる」、明け方は「鳥」のさえずりと、音の移ろい
・釜で炊き上げたごはんと山菜の朝食
・帰路での山間部の景観や、産直市場の地域の特産物

など豊富な話題で、合宿ならではの盛り上がりでした。

以上、今回の3テーマの合宿研修開催は、松井進一会員の門出地区との実施調整と、小林康生氏のご協力で実現したもので、参加者一同心より感謝いたします。

（報告者　渡辺 良男）

支部活動報告

# 埼玉支部研究会の活動報告について ～ビジネスモデル・キャンバス研究会の報告～

埼玉支部

埼玉支部では、現在、アーリーバードクラブ、環境経営研究会、およびビジネスモデル・キャンバス研究会の3研究会が活動中です。今回はビジネスモデル・キャンバス研究会の現状と今後について報告します。

［発足の経緯］

2015年4月に「BMキャンバス研究会」として発足しました。BMとはビジネスモデルのことですが、初めて研究会を紹介する場合、必ずBMとは何かを説明する必要があり、本年度から「ビジネスモデル・キャンバス研究会」と改名しました。発足時、需要・供給構造の変化に対応できない中小企業を見て、支援の道を探っていましたが、当時欧州発で世界的に流行していたBMG／BMCの手法に接し、研究会発足を決意しました。

（BMG：Business Model Generation、BMC：Business Model Canvas）

［研究の概要］

(1)最初は試行錯誤の連続でした。

BMG／BMCの手法におけるビジネスモデル・キャンバスでは、9個の機能に分けたフレームワークを定義し、標準化しています。このため当初ビジネスモデル・キャンバスの作り方の練習に終始していました。しかし実務では、思い付きに終わることが多く、BMCすなわちビジネスモデル・キャンバスに記述する前工程の重要性、必要性に気付きました。

(2)当研究会の研究範囲を前工程まで拡大しました。

BMGに関する文献によれば、BMGは標準化された手法ではなく、実務で得られた事例から、様々なノウハウを集めたノウハウ集でしかないことが分かりました。そこで既存のBMG手法を参考にしながら、当研究会独自の手法、ノウハウを確立することにしました。

**調査・分析** ➡ **戦略（施策案）** ➡ **ビジネスモデル** ➡ **事業計画書**

(3)最近の研究内容は多岐にわたります。

①調査・分析のフェーズではSWOT分析や、4P、4C等のマーケティング手法その他を研究範囲に加えています。

②実事例によるキャンバス記述の他、報道された事例によるキャンバス記述も実施しています。又ドローンを課題にビジネスモデル・キャンバス・コンテストを実施しました。

［今後の進め方］

当研究会の発足当初から、鴻巣市のコウノトリの飼育・放鳥施設のビジネスモデルの検討を続けましたが、その結果、農産物、観光資源を含む地域資源マネジメント・システムとしてまとめ、市役所、観光協会、商工会、JAなどと接触し、本格的なフィールド・ワークに入ることにしました。また他の事例にも積極的に取り組む予定で、いくつかスタートしています。

（文責：小西 洋三）

支部活動報告

# 第46期経営士養成講座を修了（本部・南関東支部共催）

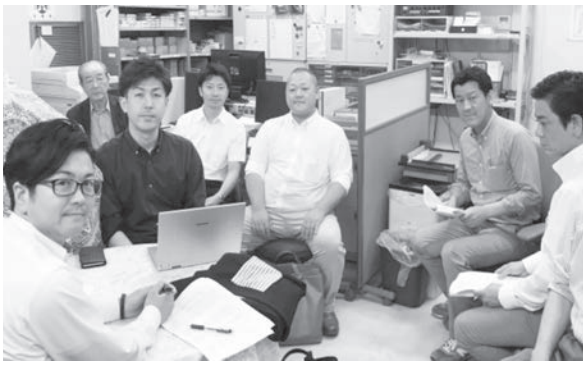
南関東支部

5月12日（土）横浜技能文化会館において青木会長に出席いただき本部・南関東支部共催第46回経営士養成講座を開催しました。受講された皆様は5名、平均年齢39歳、32歳の社長や企業の中核として活躍されている方々です。沖縄在住の方でホームページを見て申込まれ、毎週上京される受講者もおられ、若い方々の経営に対する意気込みを感じながら開講しました。

（会長挨拶・名刺交換）

講座は、企業経営の基本、組織・人事、財務等の基礎的な講義や演習を含めたマーケティング、中小企業の海外進出、生産管理のIT導入等の講義等のカリキュラムで進行し、講師の体験談や事例も交えた内容で、質疑応答も活発に行われていました。

実施研修では「ヒャッキン」「アスクル」等の大手競合が多い市場で奮闘する老舗（創業昭和23年）の文房具店にお邪魔し、二代目社長へのヒアリングや営業中の店舗、倉庫等を視察後、レンタル会議室で予定の時間を延長して熱気のある議論が行われました。研修日数は2日間でしたが、受講者間のメールによる連携で取り組み1週間後には「経営の現状調査と経営改善に関する提案書」としてまとめ、営業中にも係わらず、社長のご厚意により店舗事務所で報告を行った次第です。社長からは、提案内容ついて2/3は承知しているが、1/3は初めての提案でさすが経営士会との評価をいただきました。実施研修後の飲み会では一人何役も背負った社長業の様子を知ることできたとの受講生コメントが印象的でした。



（営業中の店舗事務所で報告の様子）

また、アポロ電気（株）太田会長の講義「わが社の盛衰と経営哲学」では、長年、会社経営に携わられた体験談は含蓄のある講話で経営の大変さと面白さに理解を深めていました。

7月14日、受講生5名の皆様は経営士養成講座を修了され、横浜の中華料理で経営会幹部と親交を深め終了しました。

（講座終了後の記念撮影）

（記　津田）

# 中部支部　活動報告

中部支部

1. ●日時：平成30年6月24日（日）　●場所：ナディアパーク6階
研究会：財務研究　担当：服部正雄
テーマ：小さな建設業界の脱！どんぶり勘定
～事例でわかる「儲かる経営の仕組み」

内容：建設業界の経営改善は、計数管理と利益意識の向上で粗利益額の増加を図ること。
そのためには、損益分岐点の把握、粗利益確保の方法を知ること、そして、売上重視から粗利益重視の転換を図り、儲かる仕事をすること、また、大型工事は工事毎の月次決算で処理すること、さらに、逸失利益をなくす、追加工事の受注メリットを活かすことなどの実務ベースの講義でした。
☆長年建設業界に携わってきた豊かな経験を基に独自の切り口で提案されている内容は大変参考になりました。昨年7月には今回のテーマを題材に本を出版し、また、建設業に特化したセミナーも積極的に開催されて好評とのことです。

（服部正雄会員の講義）

2. ●日時：平成30年7月15日（日）　●場所：名古屋芸術創造センター
研究会：新・道の駅研究会　担当：加藤健二
テーマ：魅力ある道の駅づくりについて「道の駅診断方法」(3)

内容：店舗クリニック「道の駅・むげ川」（岐阜県関市武芸川町）を例に、現在の店舗配置図を基に、どのように配置変更・品揃えの工夫をすれば、売り上げ・粗利のアップにつながるのか各自で配置図を描いてデザイン発表しました。
また、道の駅の機能として、①休息機能（駐車場・女子のトイレ数）②情報機能（道路・観光・災害情報等）③地域との連携機能（地産商品の拡充等）に加え④防災機能（水の備蓄、非常用発電、防災用トイレ）を備えた新たな道の駅が出現している。
☆上記のポイントを押さえながら、価格競争に巻き込まれない品揃え、配置、運営など課題・問題意識を持ち、各地の道の駅を徹底分析することによって提案力の力量を上げれば、新たなマーケットが切り開かれる可能性があるのではと指針をいただきました。

（加藤健二副会長の講義）

支部活動報告

# 2018(平成30)年度　第1回施設見学会
# 「パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館」見学に8名参加

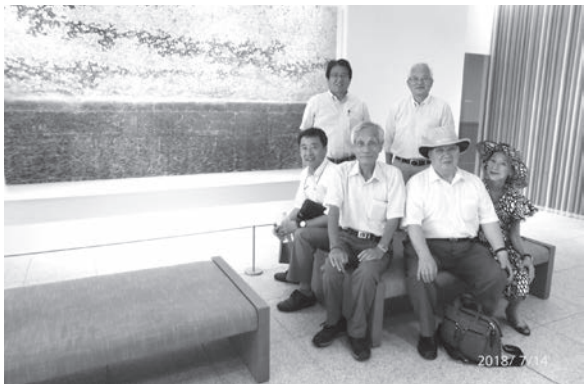
近畿支部

7月14日(土)13時に、京阪電車「西三荘駅」に集合し、パナソニックミュージアム　松下幸之助歴史館を8名で見学しました。今年創業100年を迎え企画展も開催され、松下幸之助氏の「経営理念」とその「生涯」、「パナソニックグループの会社歴史」を、歴史資料とともに最新のAV機器をつかって分かりやすく展示、シアターでは松下幸之助氏の商売、事業に対する想いをまとめた「松下幸之助商いの心」が上映されていました。また、当日は、建築家松田昌久氏もお招きしました。

経営理念で、「人間はダイヤモンドの原石」「松下電器は物をつくる前に人をつくる会社」として、人をつくりそして良い製品を作るとして、一代で大企業に成長・発展した会社のすばらしさを感じました。

一方で現在、多くの企業では、人を経費として考える風潮があり、若者の約5割が非正規雇用で低い賃金で働かざるを得ず、結婚もできない状況があります。このことが少子化・人口減少に拍車をかけています。日本のモノづくりの発展は、松下幸之助氏の経営理念「松下電器は物をつくる前に人をつくる会社」という言葉を再認識し、人を大事にするからより良い製品ができるという原点を考える良い機会になりました。

（パナソニックミュージアム 松下幸之助歴史館）


（施設見学会参加者）

## ■各研究会の活動

**経営顧問研究会**　日本経営士会近畿支部事務所

5月 2日(水)18時～「稼げるコンサルタントになるために」　講師　鋳方貞了氏

6月 9日(土)10時～「私の後継者教育」　講師　鋳方貞了氏

7月28日(土)10時～「スマホ活用法：①こんなことまで出来る!」　講師　橋本俊幸氏

**MPP研究会**　日本経営士会近畿支部事務所

◇平成30年5月19日(土)13時～　テーマ「社員教育」

◇平成29年6月 9日(土)13時～　テーマ「事業承継と事業展開をどのように進めるか」

◇平成30年7月28日(土)13時～　テーマ「ジェネレーションギャップによる環境変化の対応の遅れ」

**MPPリーダー養成研修**

◇平成30年7月21日(土) ～ 22日(日)10時～ 17時

支部活動報告

# 中国支部50週年記念行事の開催報告

中国支部

晴天に恵まれた7月21－22日の両日に広島国際会議場において、一般社団法人日本経営士会中国支部50周年と会員の小原啓子女史が代表を務める(株)デンタルタイアップ10周年を記念し、『歯科医院から発信する働き方改革』と銘打ったフォーラムを共同開催致しました。

来賓は、産業能率大学学長補佐の齊藤聡氏、県立広島大学経営専門職大学院教授の木谷宏氏、広島県社会保険労務士会々長の林利憲氏、特別公演は地元落語家のジャンボ衣笠氏、働き方改革の第一人者SMR代表の佐々木常夫氏、歯周病の撲滅を宣言した日本歯周病学会理事長の栗原英見氏など、多彩な顔ぶれでした。経営士会本部からは青木幸江会長・加藤健二副会長・藤本賢司業務執行理事が、支部からは川出泰造広島経営支援センター長を始め中国支部の会員が駆けつけ、分科会での講師役やコメンテーター役を熟していました。

事例発表された23軒の歯科医院は仙台から鹿児島まで全国に及び、全体での参加者総数は21日が268名、22日が323名と盛大な発表と研修の場になりました。

(「歯科医院から発信する働き方改革」)

開会に先立ち、西日本豪雨災害に遭われた方への黙禱がありました。その後各医院からの発表は、理念型経営・5S活動・ワークライフバランス(再雇用・時短労働・有給消化の促進)などへの改善取組み、その決断に至った経緯や実施段階での意識統一など、泣き笑いの苦悩話を赤裸々に語られていました。

何よりも感銘を受けたのは、青木会長から表彰状を受取った後のコメントでした。歯科医の皆さんが異口同音に発したのは、「私一人の力は高が知れています。ここまで遣って来れたのはスタッフや支援者の皆さんのお蔭で、感謝しています」の言葉でした。また、スタッフからは「院内における存在感・達成感・充実感などを感じながらも、更に高次元のTotal-Winを目指します」との力強いバックアップの言葉が裏打ちしていたことです。

『リーダーの最大の責務は、自発的に改革へ挑む組織文化を醸成すること』を実践し、ここまで意思統一するには、的確な理念とビジョンを支えとしながら、自我を曝け出しクレームへ正面から向き合わなければ出来ません。また、売上生産性の改善度合いをグラフで示し、採択した戦略と結果の成否を検証し、経営者として一定レベルへ成長した姿がありました。更には、これらクライアントが自立へ向けて頑張っている姿から、考え方・取組み姿勢・改善手法を移植しながら縁の下で支えている小原会員が透けて見え、頼もしく感じました。

熱中症が騒がれ猛暑日が続く中、経営革新へ取組まれた歯科医院からの発表は、それ以上に熱気を感じさせる内容でした。

(中国支部長　金廣 利三)

支部活動報告

# 四国支部香川県会6月度例会

四国支部

6月20日、高松テルサにて四国支部香川県会6月例会が開催されました。大雨注意報発令中にもかかわらず9人の会員が集まり、今回は四国支部女性会員の至宝山本カオル会員によるコーチングについての講義を受けました。

幸せに働く人材を育成し業績に繋げるということを実践しながら、その中の事例や経営士を含めた士業にとってのコンサルの入り口に当たる部分で大いに参考になりました。また、わが国が北京オリンピックからアスリートのコーチングにも力を入れてきていることなどの事例も紹介されました。

従業員への接し方や挨拶を改善して売り上げが伸びた事例や、褒め方、叱り方などに至るまでを事例を用いてわかりやすく説明していただきました。

さまざまなシーンでのやる気を喚起する魔法の言葉なども山本会員のユニークな表現によりあっという間2時間が経過していきました。例会終了後も参加者の一部がホールで企業の定着率から最近の雇用の状況や業界情報、新卒者の就職状況や香川県会の例会をオープン形式で行なう案等、約1時間の延長戦を行ない、講義を含めて有意義な時間となりました。

次回は7月18日午後7時からを予定しております。

（四国支部　岩井 美喜夫）

（白熱した山本会員の講義）

支部活動報告

# 特報！四国女性経営士の会発足！

四国支部

7月17日（火）奇しくも東京のNJKと活動の日程が重なりましたが、午後2時より高松国際ホテルにて、四国女性経営士の会を支部の女性精鋭3名（松本会員、山本会員、加藤会員／ 2名所用により欠席）とおまけの事務局岩井で開催しました。

冒頭に事務局からNJKの概要と活動内容を説明し、四国支部としてどのようなカラーを出すかを話し合いました。女性3名とも数多の会合を経験したつわもので、事務局として男性会員より凄いのではないかと思いながら進行させて頂きました。

まずは発足に当たって、活動目的を定めないといけないということで、地域で広く一般の方に経営士会の存在を知ってもらいたい、女性ならではの地域に根付く活動を行なうことなどが挙がりました。

続いて、何が出来るかということで、NJKの活動内容なども参考に、地域で頑張っている女性経営者向けのセミナーを行なってはどうかという意見が出ました。あわせて四国の女性経営士が活躍できる場になることもポイントとなります。

その他、ターゲット層やカリキュラム、困りごとを解決するにはということなどまで話し合いました。その中でも、カリキュラムのタイトルなどは、難しい言葉を使わず、一目瞭然のものにするなど女性ならではの意見も出て、普段のセミナー以上に学ぶことも多かったように思います。このプロジェクトのスタートは少し先を見据えての計画ですが、女性らしく華やかな企画も同時に考えていく予定です。

NJKはじめ、全国の皆様のお知恵も借りてより良いものにしていこうと思っております。同時に四国支部の男性会員も相乗効果が出ることを期待しております。

（四国支部　岩井 美喜夫）

（強力な四国支部女性会員・・・3人揃ってフィーバーです）

# 支部研究会ご案内

**【北関東支部】（茨城県会）**

**＊茨城県会公開MPP（ケース作成主体）**
9月15日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

**＊茨城県会月例研究会**
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
10月13日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

**＊北関東支部公開MPP（長野県会主管）**
12月 1日（土）～2日（日）
（会場、その他詳細は長野県会から別途ご案内）

**＊茨城県会月例研究会**
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
12月15日（土）13：30～16：30
ひたちなか商工会議所

**【北関東支部】（新潟県会）**

**＊会員研修会**
9月29日（土）15：00～17：30
クロスパル新潟

**＊MPPケース研究会**
10月20日（土）14：00～17：00
木村経営コンサルタント事務所

**【埼玉支部】**

**＊ビジネスモデル・キャンバス研究会**
9月10日（月）13：30～
浦和コミュニティセンター 第13集会室

**＊環境経営研究会**
9月16日（日）13：30～17：00
川口市立かわぐち市民パートナーステーション

**＊ビジネスモデル・キャンバス研究会**
10月 5日（月）13：30～
武蔵浦和コミュニティセンター 第7集会室

**＊支部例会**
10月14日（土）14：30～16：30
武蔵浦和コミュニティセンター 第9集会室

**【TAMAマネジメント研究会】**
9月22日（土）14：00～17：00
10月27日（土）14：00～17：00
11月24日（土）14：00～17：00
（会場は毎回 三多摩労働会館）
10月 3日（水）15：00～17：00
（企業見学会）

**【一木会】**
9月6日（木）15：00～17：00
10月4日（木）15：00～17：00
（9、10月の会場は、本部会議室）
11月2日（金）15：00～17：00
12月6日（木）15：00～17：00
（11月以降はホテル・グランドヒル市ヶ谷）

**【中部支部】**

**＊新・道の駅研究会**
**魅力ある道の駅づくりについて「道の駅の診断方法」(4)**
9月9日（日）9：30～11：30

**＊CSR研究会**
**CSRの最前線「企業とCSR活動について」(4)**
9月9日（日）12：30～14：30

**＊養成講座委員会**
**経営士補養成講座内容検討「人事」**
9月23日（日）9：30～11：30

**＊ICT研究会**
**ネット環境のリスクについて**
9月23日（日）12：30～14：30

**＊環境経営士セミナー**
**環境経営士フォローアップセミナー**
9月30日（日）10：00～16：00
（会場は全て名古屋市芸術創造センター）

**【近畿支部】**

**＊経営顧問研究会の活動日程**
9月15日（土）10：00～11：30
11月10日（土）10：00～11：30
（会場は日本経営士会近畿支部事務所）

**＊MPP研究会の活動日程**
9月15日（土）13：00～16：00
11月10日（土）13：00～16：00
（会場は日本経営士会近畿支部事務所）

**＊会計セミナー（独立行政法人中小基盤整備機構）**
10月5日（金）13：30～
大阪市生涯学習センター（大阪第2ビル5F）

# インフォメーション

## ✿　2019年度版 経営士手帳について　✿

2019年度版 経営士手帳は、会報誌11・12月号(発行予定は11月上旬)と一緒にお届けする予定で準備を進めています。ご活用を宜しくお願い致します。

## ★ ★ ★　経営士証作成の件　★ ★ ★

一般社団法人に移行しました平成 25 年に、任意希望により新経営士証を作成いたしました。
その時期に作成しました経営士証は、今年 3 月末で有効期限が切れています。
更新を希望される場合は、1 枚 2,000 円で作成いたしますので下記要領で申し込み下さい。
・名前・会員番号・住所・生年月日と、顔写真の画像をメール添付にて経営士会事務局 office@keieishikai.com にお送り下さい。
経営士証が出来上がり次第、払込票を同封し送付しますので 2,000 円をお振込み下さい。

## 「経営士の提言」執筆のお願い

日刊工業新聞社のご厚意により、日刊工業新聞紙面に「経営士の提言」の欄を設けていただいております。
日本経営士会並びに「経営士」の活動を知っていただく絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿をお待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

**■「経営士の提言」執筆要領**

内　　容　：「モノづくり産業を中心とした経営的視点から」読者・関連業界に参考になる提言・提案を執筆して下さい。
字　　数　：900 文字（末尾に氏名と電話番号を記載）
紙面掲載　：毎週木曜日
原稿作成　：文章は常体「だ・である」でワードで作成の上、メール等にてデータで本部宛てにお送り下さい。
（メールアドレス office@keieishikai.com）
＊掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

# インフォメーション


PR

一般社団法人日本経営士会

## 花 上 一 雄

花上グループ『社外人事部®』
★社会保険労務士法人 閃 光 舎

併設団体 中小企業経営協力会
★人事情報システム株式会社
★オフィスサポート株式会社

TEL:045-360-5560　FAX:045-360-5561
■E-mail : hanaue@hanaue.co.jp
■URL : www.senkousha.or.jp
〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東 2-5-13

## 株式会社バーニングスピリッツはバックオフィスのコンビニエンスストアです！

【弊社事業】

1. 週一回から貴社の経理部長をさせて頂きます。（心温まるハートタイム経理部長サービスをお届けします。）
2. 貴社の販売促進コンサルタントをさせて頂きます。お菓子を用いた宣伝物の企画・製作を行います。熱中症予防に塩飴やスポーツドリンクキャンディも販売させて頂きます。
3. 貴社に必要な補助金・助成金・入札情報を入手できるツール　政策リサーチをご提供させて頂きます。弊社は政策リサーチの販売代理店です。

※「政策リサーチ」は一般社団法人日本みらい研と株式会社角川アスキー総合研究所の共同研究・開発商品です。

弊社のモットーは傾聴です。御社のお話をとことん熱く聞かせてください。

【お問合せ先】＊お気軽にどうぞ
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛（経営士5384、環境経営士244）
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com
ウェブサイト：https://www.burningspirits2017.com

PR

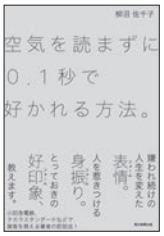

## 名刺広告大募集

名刺広告を掲載いたしませんか！名刺広告を大募集しています。価格は下記の通りです。
＊連続で掲載の場合は２割引きになります。

| 種　類 | 価　格（会員） | 価　格（一般） |
|---|---|---|
| カラー１面 | 35,000 | 50,000 |
| モノクロ１面 | 20,000 | 25,000 |
| モノクロ半ページ | 10,000 | 15,000 |
| モノクロ名刺サイズ | 5,000 | 7,500 |

**新書紹介**

書籍名：「空気を読まずに0.1秒で好かれる方法。」
著　者：柳沼 佐千子（会員番号5311）
定　価：1,400円（税別）
発行所：朝日新聞出版
発行日：平成30年5月21日



# Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management